

早稲田大学 商学部  
2023年度 入試問題の訂正内容

<商学部 一般選抜>

【日本史】

●問題冊子7ページ：設問3 問H 選択肢1

(誤)・・・無頼の者であったという。

(正)・・・無頼の者であったとされる。

以上

早稲田大学 2023年度  
一般選抜 商学部

2023年度
日 本 史
(問 題)
<R05173316>

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例)	3825番⇒	万	千	百	十	一
			3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

1

次の史料を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

蓋し聞く、律は懲<sup>ちやうしやく</sup>肅<sup>むね</sup>を以て宗と為し、令は勸<sup>かん</sup>誠<sup>かい</sup>を以て本となす。格は 、式は 。〔中略〕古は世質時素にして法令未だ彰ならず。無為にして治まり、肅せずして化す。推古天皇十二年に暨<sup>およ</sup>び、上宮太子親<sup>みづか</sup>ら憲<sup>か</sup>法十七箇条を作り、国家の制法<sup>せいこ</sup>茲より始まる。降<sup>くだ</sup>りて天智天皇元年に至り、令二十二卷を制す。世人の所謂<sup>いへ</sup>る  朝廷の令なり。爰<sup>こゝ</sup>に  天皇の大寶元年に逮<sup>いた</sup>りて、贈太政大臣正一位藤原朝臣不比等、勅<sup>うけたま</sup>を奉<sup>た</sup>りて律六卷、令十一卷を撰す。養老二年、復た同大臣不比等、勅を奉りて更に律令を撰し、各十卷と為す。今世に行ふ律令は是なり。故に去ぬる天平勝宝九歳五月二十日の勅書に稱はく、「傾<sup>い</sup>年<sup>としご</sup>、選<sup>せん</sup>人<sup>にん</sup>、格に依りて階を結ぶ。人々、高位にして、任官<sup>たより</sup>に便あらず。今より以後、新<sup>あたら</sup>令<sup>し</sup>に依るべし。去ぬる養老中に朕<sup>り</sup>が外祖故太政大臣、勅を奉りて律令を刊<sup>かん</sup>脩<sup>しゆう</sup>せり。所司に仰せて、早に施行せしむべし」と。〔中略〕律令は是れ政に従ふの本たり、格式は乃ち職を守るの要たり。方今、律令は頻りに刊脩を経たりと雖も、格式は未だ編<sup>へん</sup>緝<sup>しやく</sup>を加へず。〔中略〕今古を商量し、用捨を審察し、類を以て相從<sup>あ</sup>へ、諸司<sup>しよ</sup>に分隸<sup>ぶんれい</sup>す。〔中略〕上は大寶元年より起こし、下は弘仁十年に迄る、都て式四十卷、格十卷と為す。

(原漢文)

問A この史料は『類聚三代格』に収められたある史料の序文である。その史料として、正しいものはどれか。

1. 『類聚国史』 2. 『弘仁格式』 3. 『令義解』 4. 『延喜格式』 5. 『和名類聚抄』

問B 空欄イ・ロに入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. イー天下<sup>すく</sup>を濟<sup>すく</sup>ひ助け      ロー朝政<sup>すべ</sup>を総<sup>か</sup>て撰<sup>つか</sup>ね奉<sup>まつ</sup>仕<sup>まつ</sup>れり  
2. イー有<sup>あ</sup>無<sup>な</sup>を交易<sup>かうぎ</sup>し      ロー之<sup>これ</sup>を監<sup>かん</sup>せしむ  
3. イー旧辞<sup>あやまりたが</sup>の誤<sup>あやまり</sup> 忤<sup>あやまり</sup>へるを惜<sup>あやまり</sup>しみ      ロー先紀<sup>あやまりまじわ</sup>の謬<sup>あやまり</sup> 錯<sup>あやまり</sup>れるを正<sup>あやまり</sup>す  
4. イー則<sup>すなわ</sup>ち時<sup>とき</sup>を量<sup>はか</sup>りて制<sup>せい</sup>を立て      ロー則<sup>すなわ</sup>ち闕<sup>あやまり</sup>けたるを補<sup>おぎな</sup>ひ遺<sup>あやまり</sup>れるを拾<sup>あやまり</sup>ふ  
5. イー初<sup>はじめて</sup>めて京師<sup>きやうし</sup>を修<sup>おほ</sup>め      ロー初<sup>はじめて</sup>めて戸籍<sup>こ</sup>・計帳<sup>けい</sup>・班田<sup>はん</sup>収授<sup>しゆうじゆ</sup>の法<sup>ほ</sup>を造<sup>つく</sup>る

問C 下線部ハに関する説明として、誤っているものはどれか。

1. 『隋書』が伝える倭国からの最初の遣隋使が派遣される前に制定された。  
2. 冠位十二階が定められた後に定められた。  
3. 仏教を新しい政治理念として重んじていた。  
4. 「詔<sup>うけたまわ</sup>を承<sup>うけたまわ</sup>りては必ず謹<sup>きん</sup>め」とある。  
5. 「和を以て貴<sup>き</sup>しとなし、忤<sup>あやまり</sup>ふること無<sup>な</sup>きを宗<sup>しゆ</sup>とせよ」とある。

問D 下線部ニの人物に関する文として、正しいものはどれか。

1. 父は敏達天皇である。  
2. 都を近江大津宮に移した翌年に即位した。  
3. 母の孝徳天皇は重祚して齊明天皇となった。  
4. 乙巳の変で蘇我馬子・蝦夷・入鹿を滅ぼした。  
5. 庚寅年籍を作成した。

問E 空欄ホに入る地名として、正しいものはどれか。

1. 河内 2. 大和 3. 難波 4. 飛鳥 5. 近江

問F 空欄ヘに入る天皇名として、正しいものはどれか。

1. 天武 2. 持統 3. 文武 4. 元明 5. 元正

問G 下線部トの説明として、誤っているものはどれか。

1. 唐の永徽律令が手本にされたとみられている。
2. 令は唐令をほぼ引き写したが、律は唐律を大幅に改変したとみられている。
3. 律と令がともに編纂されるのは、日本でははじめてのことだったとみられている。
4. 令には行政組織や政治の運用に関する規定があった。
5. 藤原京の時代にはじめて施行された。

問H 下線部チは何を指すか。

1. 蔭位の制
2. 大宝令
3. 養老令
4. 蓄銭叙位令
5. 三代格式

問I 下線部リの人物として、正しいものはどれか。

1. 淳仁天皇
2. 嵯峨天皇
3. 光仁天皇
4. 聖武天皇
5. 孝謙天皇

問J 下線部ヌの文の意味として、正しいものはどれか。

1. 律令が何度も改訂されたため、格式が古くなってしまった。
2. 律令の種類はいくつもあるのに、格式がこれに対応できていない。
3. 律令は何度も改訂されているのに、格式は制定後一度も改訂が加えられていない。
4. 律令は何度も改訂されているが、格式はまだ一度もまとめられていない。
5. 律令は何度も編纂されたが、すでに古く、格式に新たな解釈を加えていくべきである。

2 次の史料Ⅰ～Ⅴと解説文を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料Ⅰ）

一、朝倉が館之外、国内□（に）城郭を構えさせまじく候、惣別分限あらん者、イへ引越、□には代官ばかり置かるべき事、

（朝倉孝景条々）

（史料Ⅱ）

一、喧嘩に及ぶ輩、理非を論ぜず、両方共に死罪に行うべきなり、

（今川仮名目録）

（史料Ⅲ）

一、おのおの同心・与力の者、他人を頼み、内儀と号し、訴訟を申すこと、これを停止す、（中略）、ただし、ハ、道理正しき上を、鬚眉の沙汰をいたし押さえ置くか、また敵方計策か、または国のため大事に至りては、密儀をもって、たよりよき様に申すべきも、苦しからざるなり、

（今川仮名目録追加）

（史料Ⅳ）

一、（中略）、只今はおしなべて、自分の力量をもって、国の法度を申しつけ、静謐することなれば、守護の手入れまじきこと、かつてあるべからず、

（今川仮名目録追加）

（史料Ⅴ）

一、ニ、行儀そのほかの法度以下において、旨趣相違のことあらば、貴賤を撰ばず、目安をもって申すべし、

（甲州法度之次第）

15世紀のなかば以降、室町幕府の勢威は衰え、「戦国」とよばれる世となった。列島の多くの地域には戦国大名といわれる権力が成立した。そのなかには、家訓・<sup>ホ</sup>法典などを制定した者もあり、その支配政策・思想の一端を知ることができる。史料Ⅰは、家臣の城下町への集住を促したものとされている。史料Ⅱは、戦国大名の権力的性格をよく示しているとされる。史料Ⅲは、戦国大名の軍制のなかで有名なのがみえるが、ここではその制度が訴訟のあり方にも関わっていること、つまり所属している ハ を経由しない訴訟は禁止するが、例外もあることが示されている。史料Ⅳは、戦国大名の自意識を示すものとして有名である。史料Ⅴは、制定者自身が、自己の行為に問題があった場合は訴え出るように規定している点が興味深い。ただ、家訓・法典を制定していない戦国大名も多く、制定している大名としていない大名はどこが異なるかは課題として残されている。たとえば、<sup>チ</sup>検地の実施などは家訓・法典を制定している大名にもしていない大名にもみられるわけである。

このほか、戦国大名は支配領域（領国）の政治・経済を統御するためにさまざまな政策をおこなった。経済振興策としては、<sup>リ</sup>楽市令などが有名である。戦国大名の領国はさながら地域国家の様相を呈したが、列島がすべて戦国大名の支配に帰していたわけではない。たとえば堺などは、「ベニス市の如く執政官に依りて治めらる」と評されているし、惣国一揆や一向一揆に治められている地域もあった。

こうした状況が変化し、列島が統合へ向けて大きく動くには、<sup>ル</sup>織田信長の登場を待つことになるのである。

問A 空欄イ・ロに入る語の組み合わせとして、正しいのはどれか。

1. イ＝一乗谷 ロ＝城郭      2. イ＝城郭      ロ＝郷村      3. イ＝一乗谷      ロ＝郷村  
4. イ＝城郭      ロ＝一乗谷      5. イ＝一乗谷      ロ＝館

問B 空欄ハに入る語はどれか。

1. 主君      2. 寄親      3. 国人      4. 寄子      5. 地侍

問C 空欄ニに入る人名はどれか。

1. 種宗      2. 景虎      3. 氏康      4. 晴信      5. 義治

問D 下線部ホに関連する説明として、正しいものはどれか。

- 享徳の乱の最中、將軍足利義政の子である政知が堀越公方となった。
- 応仁の乱の膠着状態に乗り、加賀の一向一揆が一国の支配権を握った。
- 明応の政変で、管領畠山氏が將軍を廃した。
- 伊勢宗瑞（北条早雲）は、足利成氏を自害に追い込んだ。
- 関東の上杉氏では、山内・扇谷両家が抗争を繰り広げた。

問E 下線部ヘに関連して喧嘩両成敗法の目的について述べた文のうち、正しいものはどれか。

- 戦国大名は、むやみに実力行使する家臣たちに、理非の大切さを学ばせようとした。
- 戦国大名は、死刑を推進して家臣たちの勢力を減退させようとした。
- 戦国大名は、家臣たちの道理にかなった争いを認め、裁判の手間を省こうとした。
- 戦国大名は、家臣たちを死刑にすることを嫌ったので、裁判を少なくしようとした。
- 戦国大名は、みずから家臣たちの争いの解決を委ねさせようとした。

問F 下線部トに関連し、史料Ⅳについて述べた文のうち、正しいものはどれか。

- 現在は家臣たちが勝手に支配を行っているが、かつては今川氏が領国内の平和を保っていた。
- 現在は將軍自身が国家の法を制定して平和を維持し、今川氏が手を煩わすことはない。
- 現在は今川氏が領国の法を制定して平和を維持しているのだから、今川氏が手出しできない場所があってはならない。
- 現在は家臣たちの突き上げで今川氏が領国の法を制定しているが、かつては家臣たちに手出しされることなどなかった。
- 現在は今川氏が国家の法に意見できるほど力を得ており、將軍の直轄領にすら手出しをしている。

問G 下線部<sup>チ</sup>に関連して述べた次の文X・Y・Zの正誤の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

X 戦国大名の検地は、農民たちの自己申告を否定し、大名が派遣した役人の測量を徹底した。

Y 戦国大名の検地は、家臣たちの支配地では実行されなかった。

Z 検地によって把握された年貢量を銭に換算したものは、貫高といわれる。

1. X-正 Y-正 Z-誤    2. X-正 Y-誤 Z-正    3. X-正 Y-誤 Z-誤  
4. X-誤 Y-正 Z-正    5. X-誤 Y-誤 Z-正

問H 下線部<sup>リ</sup>に関連し、六角氏が樂市として認めたのはどれか。

1. 石寺    2. 今井    3. 大湊    4. 加納    5. 平野

問I 下線部<sup>又</sup>について、これを述べた人物はどれか。

1. ヴァリニャーニ    2. ガスパル＝ヴィレラ    3. フランシスコ＝ザビエル  
4. ルイス＝フロイス    5. ウィリアム＝アダムズ

問J 下線部<sup>ル</sup>がおこなった事柄a～cを古い順に並べたうち、正しいものはどれか。

- a 越前の一向一揆を平定した。  
b 姉川の戦いで浅井・朝倉氏を破った。  
c 比叡山延暦寺を焼打ちした。

1. a→b→c    2. a→c→b    3. b→a→c    4. b→c→a    5. c→a→b

**3** 次の文章とそれに関連する史料を読み、下記の設問(A～J)に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

1787年5月、江戸で大規模な打ちこわしが起こったことはよく知られている。その原因は複合的なものだが、もっとも大きな原因は米価の高騰である。その経緯は次のようであった。1783年、**イ**噴火により吹き上げられた火山灰が、太陽の照射を妨げたことによって凶作となり、翌年にかけて東北地方で飢饉が発生した。加えて1786年、関東地方で洪水により凶作となった。結果、米をはじめ諸物価がいちじるしく高騰した。江戸町奉行所は米の荷受けを米穀商人以外にも許可することにより、米の江戸回送を促して米価を引き下げようとしたが、あまり効果はなかった。それは、米屋以外の者による買い占めがあり、かえって米価高騰を招いたからである。こうして、米屋はもちろん、それ以外の商人による米の買い占めや売り惜しみが原因となって、江戸で数百軒が打ちこわされる事態となった。

打ちこわしに参加した者の多くは、**ハ**で暮らす江戸下層住民であった。彼らには彼らの正当性意識があったことは、この打ちこわしを記録した下記の史料からうかがえる。史料1や史料2には、打ちこわし勢の特徴がよく表れている。

一方、こうした秩序の乱れは天の意志がはたらいた結果である、という見方があったことは注目される。史料3によれば、年号が悪いからだろうか、天皇が即位したからだろうか、役人の職務怠慢だろうか、などの噂話でもちきりだったという。そして、この打ちこわしには首謀者というのではなく、自然と起こったことだから天の意志によるものだとされた。安民を約束するという治者の役割が果たされていないことにより、天の意志によって秩序が乱れるとする天譴論という認識が人々に広がっていたことがわかる。

こうして、この事件は幕府の政治にも大きな影響を与えることになる。実際、この打ちこわしに後押しされて、**ホ**の政権が誕生した。

(史料1)

(打ちこわし勢は)四里四方あらし打ち破り候事にて手早き仕業に御座候、右の人数はそのところどころにて見立て、

食事を申しつけ、心静かに支度いたし、目指すところばかり破り候、隣家などへは少しもかまえ申さず候、誠に丁寧礼儀正しく狼藉に御座候

(史料2)

打ち崩し下賤無頼の者の一統に言うところ、これ凡人にあらず、天狗なるや、または何神なるや、または大神宮の神使などと、えも言われぬたわけ申し触れる

(史料3)

かたじけなくも **チ** 関東御打ち入り以来、数百の星霜おしうつり来るところに、当年ほど米穀の騒動したることを聞かず、嗚呼天なるかな、命なるかな、年号の業にもあらず、今上皇帝の御冠の領しにやと、(中略)政務の怠りとか何とか評説雑話は街に山のごとし、(中略)打ち崩しの張本という者はなく、自然とそのところどころより起き立つこと、やはり天よりなすところなり

問A 空欄イに該当する語はどれか。

1. 富士山
2. 桜島
3. 阿蘇山
4. 浅間山
5. 三宅島

問B 各地を巡歴し、下線部ロの記録を残した三河国の国学者はだれか。

1. 菅江真澄
2. 高山彦九郎
3. 伴信友
4. 頼山陽
5. 鈴木牧之

問C 空欄ハに該当する語の説明として、誤っているものはどれか。

1. 商売をする表店の対義語である。
2. 住居人は長屋を含む町の自治に参加した。
3. 住居人は棒手振や日雇いで生活する者が多かった。
4. この住宅は長い一棟の建物を仕切って数軒の住居としている長屋が多かった。
5. この住居空間には共同の井戸や便所があった。

問D 下線部ニのように指摘された年号はどれか。

1. 明和
2. 安永
3. 天明
4. 寛政
5. 享和

問E 下線部ホの前政権についての説明で、正しいものはどれか。

1. 長崎貿易において、倭物を輸入して利益をあげようとした。
2. 鎖国を堅持することを前提に、蝦夷地の開発を進めた。
3. 印旛沼・手賀沼の干拓を進め、完成させた。
4. 定量の計数銀貨である南鐐二朱銀を鑄造し、金中心の貨幣制度の統一をはかった。
5. 株仲間を認めなかったため、賄賂が横行した。

問F 空欄ヘの政権の政策でないものはどれか。

1. 『孝義録』編纂
2. 江戸町会所設置
3. 物価引下令発令
4. 出版統制令発令
5. 寄場組合設立

問G 下線部トの大意はどれか。

1. 近隣などへは少しも迷惑がかからないように、まことにていねいに礼儀正しく乱暴を行った。
2. 近隣などへ被害が及んでも少しも配慮せずに、まことにていねいに礼儀正しく乱暴を行った。
3. 近隣などにも同調するように声をかけ、まことにていねいに礼儀正しく乱暴を行った。
4. 近隣などへは事前に打ちこわしをすることを知らせた上で、まことにていねいに礼儀正しく乱暴を行った。
5. 近隣などへは少しも事前に知らせず、まことにていねいに礼儀正しく乱暴を行った。

問H 史料2の内容について、誤っているものはどれか。

1. 打ちこわし勢は、賤しい無頼の者であったという。
2. 打ちこわし勢は、自らを通常の間人ではないと言った。
3. 打ちこわし勢は、自らを「天狗」や「大神宮の神使」と称していた。
4. 打ちこわし勢の自己認識を、この記録の著者も賛同していた。
5. 打ちこわし勢の自己認識は、天や神の代行者であった。

問I 空欄チに該当する人物をまつる日光の施設についての説明で、誤っているものはどれか。

1. 極彩色の彫刻で飾られた陽明門がある。
2. 歴代将軍がみな将軍就任時に日光社参を行った。
3. 権現造という様式の代表例である。
4. 空欄チの神格化を進めた孫も埋葬された。
5. 日光以外の各地に同じ施設が勧請された。

問J 下線部に該当する人物はどれか。

1. 徳川家治
2. 徳川家斉
3. 霊元天皇
4. 後桃園天皇
5. 光格天皇

4 次の史料I、IIを読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。なお、史料はわかりやすくするために省略や変更を加えた部分がある。

(史料I)

第一款 大日本国皇帝陛下は其の後胤(※子孫のこと)に至る迄、現今  島の一部を所領するの権利および君主に属する一切の権利を全  国皇帝陛下に譲り、而今而後  全島は悉く  帝国に属し、「ラペルーズ」海峡を以て両国の境界とす

第二款 全  国皇帝陛下は第一款に記せる  島の権利を受けし代わりとして、其の後胤に至る迄、現今所領「クリル」群島即ち第一「シムシユ」島(中略)第十八「ウルップ」島共計十八島の権利および君主に属する一切の権利を大日本国皇帝陛下に譲り(後略)

(史料II)

一 旧藩王又は旧藩吏等に於て、今般の<sup>ホ</sup>処分を拒み、居城を退去せず、土地人民官簿其他諸般の引渡を為さざるに於ては、本人は<sup>ハ</sup>警察部に付し、拘引するも苦しからず。若し反状(※反抗の様子)を顕わし、兇暴の所為に及ぶときは、<sup>ハ</sup>當所(※軍の兵營)に謀り、兵力をもって処分すべき事

(中略)

一 入琉の時に際し、藩王より遵奉書を呈するとも決して受納すべからず、命令の通り行ふべき事

問A 空欄イの島に関して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 日露和親条約では、両国の雑居地に定められた。
2. 欧米の捕鯨船乗組員が住み着いていたが、明治期に日本が領有を宣言した。
3. 下関条約によって日本に割譲され、統治機関として総督府が置かれた。
4. 日露戦争の講和条約によって、全域が日本に割譲された。
5. 第一次世界大戦後には、日本が国際連盟からの委任統治権を得た。

問B 空欄ロに当てはまる語句はどれか。

1. 独逸
2. 仏蘭西
3. 露西亜
4. 清
5. 朝鮮

問C 下線部ハの総称として、正しいものを1つマークせよ。

1. 伊豆諸島
2. 佐渡島
3. 小笠原諸島
4. 千島列島
5. 南洋諸島

問D 史料Ⅰが締結された年に起きた出来事を述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 新貨条例が制定された。
2. 元老院が設置された。
3. 日本銀行が設立された。
4. 華族令が制定された。
5. 保安条例が交付された。

問E 史料Ⅰが締結された年の翌年に始まった条約改正交渉に関する文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 玄洋社の社員により爆弾を投げつけられる事件が起き、交渉は中止となった。
2. ロシア皇太子が滋賀県で巡査に切りつけられる事件が起き、引責辞任した。
3. 欧米使節団の代表となって、条約改正の予備交渉にあたったが、挫折した。
4. 税権回復についてアメリカの同意を得たが、イギリス・ドイツなどの反対により挫折した。
5. 極端な欧化政策をとり、政府内外からの反発を受けた。

問F 史料Ⅰを締結した際に特命全権公使であった榎本武揚に関する文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 奇兵隊を率いて挙兵し、勝利した。
2. 新撰組を組織し、尊攘派の制圧にあたった。
3. 戊辰戦争の際に、箱館五稜郭に立てこもった。
4. 不平士族を率いて、鹿児島で挙兵した。
5. 札幌農学校を開いて、アメリカ式農業を広めた。

問G 下線部二にあたる人物は誰か。

1. 謝花昇
2. 尚泰
3. 高宗
4. 袁世凱
5. 乾隆帝

問H 下線部ホが完了した年に起きた出来事を述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 教育令が制定された。
2. 佐賀の乱が起きた。
3. 版籍奉還が行われた。
4. 自由党が結成された。
5. 教育勅語が發布された。

問I 下線部ヘの行政を管轄する内務省が1873年に設立されたが、その初代内務卿となった人物として、正しいものを1つマークせよ。

1. 江藤新平
2. 前島密
3. 大久保利通
4. 大村益次郎
5. 木戸孝允

問J 史料Ⅱが出されたのちに、処分の対象となった地域で起きた出来事を述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 徴兵制が施行された。
2. 地租改正が開始された。
3. 衆議院議員選挙法が施行された。
4. 府県制が施行された。
5. 鹿児島県に編入された。

次の文章Ⅰ、Ⅱを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

## Ⅰ

急速な工業化過程で、日本経済は繰り返し恐慌や不況を経験した。最初は企業勃興に続いて起こった1890年恐慌であった。以後、目立つ恐慌（不況）だけをみても、1900-01年恐慌、日露戦後の経済危機、1920年の戦後恐慌、1920年代の景気の低迷期、金融恐慌、世界恐慌を契機に始まった昭和恐慌など、激しい浮沈が繰り返されたことがわかる。

これらはそれぞれの時点における日本経済の弱さを示すと同時に、それを克服し続けた日本資本主義の強靱さを表しているともいえよう。特に、欧米の先進資本主義国が1929年に始まる世界恐慌の深く長い打撃に苦しみ続けている中、日本は高橋財政の下でいち早く恐慌から脱出し、さらに急速な成長を遂げたのであり、日本資本主義の強靱性を物語っている。

問A 下線部イに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 銀本位の安定した通貨制度が成立し、デフレが収束した。
2. 紡績業などで機械技術を基礎とする大企業の設立ブームが起きた。
3. 金利の低下と株式取引の増大が企業設立ブームを支えた。
4. 鉄道会社設立ブームの結果、民営の営業キロ数が官営を上回った。
5. 大紡績会社は2000鍾紡績を経営モデルとして設立された。

問B 下線部ロに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 八幡製鉄所では生産が順調に進まず、設備の拡充も出来ない状況が続いた。
2. 政府は増税と公債発行に基づき、軍備拡張を核とする戦後経営を推進した。
3. 三井財閥は持株会社（三井合名）を設立し、傘下企業を管理する体制を整えた。
4. 産業革命の進展に伴い鉄鋼や機械などの輸入が増加し、貿易収支の赤字が続いた。
5. 外債の累積に伴う利払いの増大が国際収支を圧迫した。

問C 下線部ハに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 震災手形の処理問題をめぐって恐慌が発生した。
2. 片岡直温蔵相の失言をきっかけにして銀行への取付騒ぎが始まった。
3. 巨額の不良債権に苦しむ台湾銀行を緊急勅令で救済する案が枢密院で否決された。
4. 震災手形を通じた日銀の特別融資を最も利用したのは3大財閥であった。
5. 恐慌をきっかけに中小銀行の整理・合併が進み、金融機関の資金的基盤が強化された。

問D 下線部ニに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 緊縮財政と旧平価（円の切上げ）での金解禁によって日本経済は大打撃を受けた。
2. デフレに対して企業は産業合理化を進めたが、人員整理は失業者の増加を招いた。
3. 政府は、重要産業統制法を制定し、大企業によるカルテル結成を取り締まった。
4. 金解禁と世界恐慌下の需要縮小によって輸出は大きく減退し、正貨が流出した。
5. デフレ政策の目的は割高な日本の物価を下げ、国際競争力を強化することにあった。

問E 下線部ホに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 金輸出再禁止による大幅な円安は輸出の飛躍的な増加をもたらした。
2. 低為替政策は、海外からソーシャル＝ダンピングと批判され、国際対立を深めた。
3. インフレへの懸念が強まると、軍事費支出の増加に歯止めをかけようとした。
4. 財政支出拡大の波及効果などによって、1933年には恐慌前の生産水準を回復した。
5. 日銀と協力して低金利政策を採用し、景気の過熱を抑制した。

II

明治期の教育政策は文明開化の一環として始まった。まず、の制度にならって1872年に学制を公布した。この制度では、人口600人に1小学校を設立することが計画されており、男女の別なく平等に教育を受けられる国民の実現が目指された。また、教員養成や女子教育のための専門学校も設立された。

学制の下で義務教育の就学率は高まったが、地方の実情と乖離した画一的な政策に批判が高まり、1879年に学制は廃止された。その後、制度的な変遷を経て1886年の学校令により小学校から帝国大学に至る学校体系が整えられ、小学校、中学校、については尋常・高等の2種が設けられることとなった。義務教育については、1890年に尋常小学校の3～4年間と明確化され、さらに1907年には年間に延長された。

義務教育就学率は1892年男子%、女子%であったが、1902年には男女平均で%を超えた。こうした義務教育の普及は、読み書きと計算という工業社会に必要な基礎的能力を国民に付与しただけでなく、共同作業における集団の規律、時間の規律を身につけさせた点でも産業化に大きく貢献した。

問F 空欄へにあてはまる国名を、記述解答用紙の解答欄にカタカナで記せ。

問G 空欄トにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問H 空欄チにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問I 空欄リにあてはまる数字を、記述解答用紙の解答欄に記せ。

問J 下線部又の a, b, c にあてはまる数字の組合せとして、正しいものを1つマークせよ。

1. a - 36   b - 70   c - 90
2. a - 40   b - 25   c - 50
3. a - 25   b - 40   c - 50
4. a - 70   b - 36   c - 90
5. a - 36   b - 40   c - 50

次の文章 I, II, III を読んで、下記の設問 (A~I) に答えよ。

I

1955~1973年頃の高度経済成長期には、いくつもの社会問題が発生した。農村・漁村・山村ではが進む一方、大都市では人口の増加を主な要因として交通渋滞、騒音が発生し、住宅不足も起きた。経済を優先させたために公害対策は遅れ、一部の企業が廃棄した汚染物質によって環境破壊が起こり、各地で公害問題が深刻化した。

またこの頃には、部落差別などの人権問題も深刻になり、1946年に結成された部落解放全国委員会が1955年に部落解放同盟と改称し、さらに1961年には審議会が政府に設置され、1969年には事業特別措置法が公布された。

II

1971~1973年には、国際経済体制が大きく揺れ動いた。1971年にニクソン大統領が金とドルの交換停止などを発表すると、固定相場制は崩れ、イギリス、フランス、ドイツなどに追随して、日本も変動相場制に移行した。同年末には、ワシントンのスミソニアン博物館で10カ国財務相会議が開催され、いったんは固定相場制の復活がはかられた(スミソニアン体制)ものの、ドル不安が再燃し、1973年には再び変動相場制に移行した。

Ⅲ

1973年10月に第4次中東戦争が勃発し、OPEC（石油輸出国機構）加盟国の6カ国が原油価格を引き上げ、またOAPEC（アラブ石油輸出国機構）が欧米などのイスラエル支持国や日本への石油輸出を制限した。これを機に安価な原油の安定的な供給という経済成長の基礎が崩れ、日本経済は大打撃を受けた（第1次石油危機）。世界経済が低迷し、経済成長率の低下、c（不況と物価の上昇）という深刻な事態に直面した。日本でも、物価が高騰し、d物価と呼ばれた。しかし世界経済が停滞する中でも、1978～1979年に起きた第2次石油危機を乗り越え、日本はある程度の経済成長率を維持しながら、安定成長期に入った。

問A 空欄aに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問B 空欄bに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問C 空欄cに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に9字で記せ。

問D 空欄dに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問E 下線部イに関する記述として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 新潟水俣病は新日本窒素肥料（チッソ）の廃棄物が原因である。
2. 富山県で起きたイタイイタイ病は、三井金属の廃棄物が原因である。
3. 四日市ぜんそくの主な原因は、石油化学コンビナートが排出した硫黄酸化物である。
4. 公害対策基本法（1967年制定）は、大気汚染・水質汚濁などの7種の公害を規制した。
5. 政府は中央公害対策本部を置き、1971年に環境庁を設置した。

問F 下線部ロについて、この間の国際経済体制や国内の状況に関連する記述として、誤っているものをすべてマークせよ。

1. ニクソン大統領の経済政策は、朝鮮戦争の戦費調達による国際収支の赤字拡大が大きな原因である。
2. アメリカは、10%の輸入課徴金、90日間の賃金・物価の凍結なども行った。
3. この間の日本の首相は、田中角栄と三木武夫である。
4. スミソニアン体制では、1ドル=308円となった。
5. 変動相場制への移行で、円高を武器とする日本の対米輸出は深刻な影響を受けた。

問G 下線部ハに関して、OPEC発足時に加盟していない国をすべてマークせよ。

1. リビア
2. イラン
3. クウェート
4. オマーン
5. サウジアラビア

問H 下線部ニに関して、記述解答用紙の解答欄に、この頃に物価を高騰させた石油危機以外の大きな要因について、「列島」という言葉を含めた30字以内の適切な文章を作成せよ。なお、句読点も1字として数えよ。

問I 下線部ホに関連して、安定成長期の政治・経済・産業に関する記述として、誤っているものを1つマークせよ。

1. この頃の企業経営は、人員削減や工場・オフィスの自動化などを行い、「効率経営」と言われた。
2. 産業構造が重厚長大型から軽薄短小型に転換していった。
3. 国鉄、電電公社、専売公社が民営化された時の首相は、中曽根康弘である。
4. 双子の赤字を抱えるアメリカへの輸出増大によって貿易摩擦が起こり、アメリカから内需拡大などを求められた。
5. 1975年の山陽新幹線の全線開業に続いて、1982年に東北・上越新幹線が開業した。

[以下余白]

<2023 R05173316>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) ・所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。  
 ・記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。  
 ・受験番号・氏名は左右の両欄に記入すること。  
 ・解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで所定の解答欄に記入すること。

日本史

記述解答用紙

<2023 R05173316>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) ・所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。  
 ・記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

日本史

(この欄には解答を書かないこと)

採点欄

5

F	
G	
H	
I	

1

--

6

A	
B	
C	
D	

2

--

H


3

--